

1. 基本情報

留学先大学	ウィーン応用芸術大学
協定留学プログラム	1 Semester
留学期間	2025年10月～2026年1月
名前	N・Iさん
学部・学科・専攻	芸術学部 美術学科 洋画専攻版画コース
留学した時の学年	3年次

2. 渡航前手続きについて(留学ビザ)

ビザの種類	シェンゲン協定での滞在につき、ビザはありませんでした。
申請先	
ビザ取得所要日数 (申請してから何日/週要したか)	
ビザ取得費用	
必要書類	
具体的な申し込み手順を、以下へ明記お願いします。	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか。	
ビザ取得に関して困った点・注意点について、以下へ明記お願いします。	
<p>シェンゲン協定で滞在しましたが、90日以上のオーストリアへの滞在はできるものの、90日以上を過ぎると、国外へ旅行などで行くと入れなくなるので、旅行などを計画する場合には注意が必要です。 180日以内の滞在だと、M35(市庁舎)に滞在許可申請をしに行っても、あなたには必要無いと言われる可能性があります。私は、そう言われて滞在許可申請はしませんでした。</p>	

2. 渡航について

利用航空会社	ターキッシュエアラインズ
航空券手配方法	スカイキャナー
大学の最寄り空港名	ウィーン国際空港
現地到着時刻	午後9時45分
キャンパスへの移動手段	バス
移動所要時間	30分
空港からキャンパスへの移動の際の注意点などありましたら、以下へ明記お願いします。	
<p>ウィーンは基本的に平日は午後8時、土曜日は午後6時ころにお店が閉まります。日曜日は空いていないお店がほとんどです。現地に着いてからsimを買う場合は到着時間を注意しなければなりません。</p>	
渡航前に済ませておくべき準備などありましたら、以下へ明記お願いします。	
<p>西駅や中央駅などの大きい駅は夜は治安が良くありません。なるべく早めの時間に着く便を選ぶか、遅くに着く場合は空港の近くのホテルに泊まるなどしたほうがいいかもしれません。 飛行機のつく時間や、その時間にどこかお店がやっているか確認しておいたほうがいいと思います。</p>	

3. 住居について

住居タイプ	友人宅
到着後すぐに居住入居できましたか？	いいえ
部屋のタイプ	2人部屋
住居を探した方法	大学のオープンチャット
住居申し込み方法	友人の紹介により、友人の親に連絡。
1カ月の宿舍費（現地通貨）	300€
注意点やアドバイスがあれば、以下へ明記をお願いします。	
ウィーンの学生寮は、空きを探すのが大変です。留学に行くことが決まり次第、早めを探すことをお勧めします。また、ウィーンの散歩道は日本人向けの寮や部屋が掲載されているので、そこで探すのもいいかもしれません。	

4. 留学先オリエンテーションについて

オリエンテーション有無	ありました
日程	2025年9月24日
参加必須ですか？	いいえ


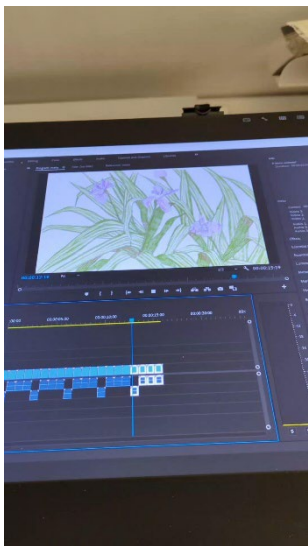
5. 授業について

履修登録はいつどのような形で行いましたか？	到着後にオンラインで
履修科目・単位数は？	4科目 21単位
ボリューム的にどうでしたか？	普通

6. 履修科目詳細 ※履修した授業すべて記載してください。

履修学科名	Zeichnung und Druckgrafik/ドローイングと版画	
①履修科目コース名	ZKF	
授業時間	約180分	
授業回数(週)	週1回	
単位数	15	
授業内容・課題・試験について	アーティストトーク、講評会、ミーティング 学期中に1人1回の講評会	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。		

②履修科目コース名	Projektarbeiten- Druckgrafik/プロジェクトワーク-版画	
授業時間	/	
授業回数(週)	/	
単位数	2	
授業内容・課題・試験について	製本、作った製本の学期末の提出	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。		
③履修科目コース名	Künstlerische Keramik/陶芸 I	
授業時間	90 分	
授業回数(週)	1	
単位数	2	
授業内容・課題・試験について	陶芸初心者クラス、自由な制作、アーティスト紹介、学期末にライティングの小テスト	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。	 <p>小さなオブジェクトの制作(粘土、釉薬)</p>	
④履修科目	Stop motion animation /ストップモーションアニメーション	
授業時間	90 分	
授業回数(週)	1	
単位数	2	

授業内容・課題・試験について	ストップモーションの基本的なテクニック、ストップモーションの技術の歴史、カメラとソフトウェア、実験的な制作と先生のフィードバック	
成果物の写真 2点以上を張り付けてください。		

7. 現地情報

(1)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか？

キャンパス内では大学の Wi-Fi を問題なく使用できました。キャンパス外では地方に行かない限り使用できました。しかし、eu 内でも国境を越えると一時的に繋がらなくなる時も少なくありませんでした。

(2)現地で携帯電話、スマートフォンの利用手続きはどのようにしましたか？

現地で esim を購入しました。しかし、日本の sim もとっておいて、どちらも使えるようにするのをお勧めします。

(3)現地での支払い方法はどのようにしていましたか？

主に wise を使いました。1 セメスターなら銀行口座は無くても大丈夫です。wise は個人の銀行口座にも送金できるので、現地の人とお金のやり取りにも使えます。

(4)現地で現金での支払いが必要な時はありましたか？

はい、カフェやバー、遊園地やパン屋さん、フリーマーケットなど、場所によって現金しか使えない場所も少なくありません。

(5)現地での資金調達はどうに行いましたか？

wise デビットカードを使用して ATM で現金を調達しました。

(6)日本から現地通貨の現金を持って行かれましたか？ はいの場合、いくら位持っていかれましたか？

40~50€ほど

(7)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

調味料やインスタント味噌汁などの日本食は持っていく事をお勧めします。現地でするととても高いです。

8. 留学体験記

(1) 留学しようと思った理由は？

海外の学生の作品を見てみたかったのが理由の1つです。以前からsnsなどでウィーンの学生の作品を見ていましたが、実際に彼らのいる環境で一緒に制作できる事に興味を持っていました。それに、常に新しい景色を探していました。

(2) 留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備はありましたか？

Dビザは必ず必要なわけでは有りませんが、有ったほうが入出国審査や他の国への移動ももっと簡単だと思うので、どちらかという取っておけばよかったと思いました。

(3) この協定大学を選んだ理由は？

良くも悪くも女子美と全く違うと聞いていたので、それにとっても興味が湧きました。せっかく違う大学に行くので、新しい環境に身を置きたかったです。

(4) 大学・学生の雰囲気はどんな感じでしたか？

主体的でありながら、とても親しみやすい温かい雰囲気でした。お互いの関心を刺激し合えるような素晴らしい人たちばかりです。先生と生徒の境界線は日本より薄く、沢山のアーティストたちがいます。

(5) 交友関係についてお聞かせください。

私の学科は特に人数が少ないこともあり、先生や生徒問わず、とてもアットホームでみんな信じられないくらい親切な人たちばかりです。彼らはお互いを知るために、カフェに行ったり一緒に食事をしたり、楽しい時間を共に過ごすのに何の心配もありませんでした。決して私の言語の不足を咎めたり、不快そうにはしませんでした。伝えようとする姿勢を、理解しようとしてくれます。

(6) 困ったこと、大変だったことがあればお聞かせください。

食がだいぶ違うので、もしお腹が弱い場合は注意しなければなりません。私は特に、乳製品のラクトーゼでお腹を壊すようになりました。ヨーロッパはやはりチーズや牛乳などの乳製品がとても多いです。また、到着後数日ホテルに泊まる場合は、泊まるホテルの口コミはしっかりチェックすることをお勧めします。また、ウィーン西駅とウィーン中央駅などの大きい駅は夜の治安があまり良くないので、注意が必要です。

(7) 現地での学習内容・勉強についてお聞かせください。

言語に関しては、私は特に何もしませんでした。ドイツ語のクラスを割引価格で受けることもできます。無料のクラスではありませんが、大学が紹介してくれます。(定員に達していない場合、無料で受けれる枠がある可能性があります。)

制作やクラスについては、専攻によると思いますが、私の専攻では最初に「全てあなた次第」と言われ、その言葉通り、先生たちは生徒の自主性を一番大切に、課題もほとんど無く、女子美と比べると自由度が高いです。

(8) 海外生活の中で気がついたことなどあればお聞かせください。

私は言語の不十分さをずっと不安に感じていましたが、そんなことはあまり必要なかったように感じます。もちろん、言語はある程度会話ができないと苦労するのである程度は話せるべきですが、話せないからといって話すのが億劫になる必要はないです。大学は特に、いろんな国からの生徒や先生がいます。

(9)海外生活の中で印象深いこと(風景、人、モノなど)を写真で紹介してください。4点以上



学期末の講評会。(講評会中の写真は残念ながら撮りませんでした(; ;。友達が良いカメラを持ってきてくれましたが、時間に間に合わず、;;))
ここでみんな初めて私がどんな物を作っていたのか見ました。彼らのフィードバックは常にポジティブで、自分にどんな可能性があるかを探してくれました。毎週水曜日は講評の日で、私はその日が好きでした。ウィーン応用では女子美とは違い、未完成のものも見せてみることで、迷いも共有します。自分の思考に対する態度を見る姿勢を私はとても気に入りました。



学期の始まりは、ランチから始まりました。新入生を迎え、みんなが料理を持ち寄っておしゃべりしながら過ごします。ウィーンでは、本当によくみんなでご飯をスタジオで食べる機会が多かったです。温かいご飯は人と人を繋げる大きな役割があると感じました。最初から最後までこのクラスは温かい場所でした。



クラスではよく誰かがご飯を作ってみんなに振る舞っていました。私はその時間がすごく好きでした。みんなで話しながらご飯を食べたりお茶を飲んだりする時間が一番心地よかったです。



クリスマスはヨーロッパの友人はみんな実家に帰って家族で過ごすので、私は日本人同士、住まわしてもらっている家の兄妹とフラットメイトとご飯を作って過ごしました。彼らとの生活は、同じ日本人というだけでもとても心強かったです。

1. 基本情報	
留学先大学	ウィーン応用芸術大学(オーストリア)
協定留学プログラム	1 Semester
留学期間	2025年9月～2026年3月
名前	T・Nさん
学部・学科・専攻	芸術学部 アート・デザイン表現学科 アートプロデュース表現領域専攻
留学した時の学年	3年次

2. 渡航前手続きについて(留学ビザ)	
ビザの種類	オーストリアの短期滞在ビザ(ビザD)
申請先	在日オーストリア大使館
ビザ取得所要日数 (申請してから何日/週要したか)	1週間
ビザ取得費用	なし
必要書類	パスポート、パスポートのコピー、ICAO規格による最近の写真(パスポートサイズ)、英文残高証明書、英文海外保険証書(コロナカバーの記載あり)、英文在学証明書、申請用紙、フライト予約確定書、宿泊の予約証明・ホテルの予約、十分な資金の証明、通帳(6ヶ月分の残高証明)、返信用封筒
具体的な申し込み手順を、以下へ明記お願いします。	
<ul style="list-style-type: none"> ・大使館ウェブサイトまたはVFSビザ申請センターウェブサイトで予約 ・対面で書類提出、指紋登録 ・郵送にてビザ受け取り 	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか。	
なし	
ビザ取得に関して困った点・注意点について、以下へ明記お願いします。	
<ul style="list-style-type: none"> ・予約がなかなか取れず、出発ギリギリでやっとビザが取れたので、ビザ取得予定の方は早めの予約がおすすめです。 ・資金を援助してもらった場合はそれを証明する書類が必要な場合があります。 	

2. 渡航について	
利用航空会社	オーストリア航空
航空券手配方法	オーストリア航空から直接
大学の最寄り空港名	ウィーン国際空港
現地到着時刻	18:20
キャンパスへの移動手段	電車
移動所要時間	約15～40分(電車によって違います)
空港からキャンパスへの移動の際の注意点などありましたら、以下へ明記お願いします。	
空港はウィーン市ではないので、ウィーン市内で使える切符とは別で購入が必要です。	
渡航前に済ませておくべき準備などありましたら、以下へ明記お願いします。	
住民登録やその他手続に必要な書類がある場合は事前に日本で印刷をして持っていくことをお勧めします。	

3. 住居について	
住居タイプ	学生寮
到着後すぐに居住入居できましたか？	はい
部屋のタイプ	1人部屋(4人で1フラット)
住居を探した方法	大学からの運営団体紹介
住居申し込み方法	大学からの案内に従って各運営団体Webページよりそれぞれ申し込み
1カ月の宿舎費(現地通貨)	€439
注意点やアドバイスがあれば、以下へ明記をお願いします。	
とにかく早く申し込まないとすぐに寮やWGの空きがなくなります。	

4. 留学先オリエンテーションについて	
オリエンテーション有無	ありました
日程	2025年9月24日
参加必須ですか？	はい

5. 授業について	
履修登録はいつどのような形で行いましたか？	到着後にオンラインで
履修科目・単位数は？	5科目24単位(ECTS)
ボリューム的にどうでしたか？	ちょうどよかった

6. 履修科目詳細 ※履修した授業すべて記載してください。	
履修学科名	Institute of Fine Arts and Media Art, Transmedia Art
①履修科目コース名	ZKF- Transmediale Kunst III-VII
授業時間	180分
授業回数(週)	週1回
単位数	16

<p>授業内容・課題・試験について</p>	<p>Institute of Fine Arts and Media Art, Transmedia Art Individual Artistic Instruction (KE), 16.0 ECTS, 6.0 semester hours, course number S40678</p> <p>Description</p> <ul style="list-style-type: none"> - weekly ZKF (= central artistic subject) on wednesdays - discussion of current projects / annual theme - presentations by students - diploma supervision - exhibition visits / excursions - guest lectures / discussions - workshops <p>Examination Modalities</p> <ul style="list-style-type: none"> - regular attendance at ZKF (punctuality/continuous attendance, at least 80% attendance per semester, absence only excused) - 1 individual interview with Prof Knebl per semester - 1 artistic work presentation per academic year - year-specific tasks - active participation in the entire ZKF / annual topic - ongoing development of a portfolio - written response to the questionnaire with objectives for the academic year - active participation in setting up and dismantling an exhibition - participation in the clean-up dates in the classrooms <p>授業内容</p> <p>毎週水曜日のZKF(=中心芸術科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 現在のプロジェクトの議論/年度テーマ - 学生によるプレゼンテーション - ディプロマ監督 - 展示会見学/遠足 - ゲスト講義/ディスカッション - ワークショップ <p>試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> - ZKFへの定期出席(時間厳守/継続出席、学期ごとに少なくとも80%の出席、欠席のみが免除) - 学期ごとにKnebl教授との個別面接を1回 - 学年ごとに芸術作品のプレゼンテーションを1回 - 年別のタスク - ZKF全体/年次テーマへの積極的な参加 - ポートフォリオの継続的な開発 - 学年度の目標を含むアンケートへの書面回答 - 展示会の設営および解体に積極的に参加する - 教室での清掃日への参加 <p>2025年冬学期はWiener festwochenと言う芸術祭のプロジェクトについて話し合っていました。また、交換留学生は学期末までに作品を制作し、プレゼンテーションをしました。</p>
-----------------------	--

成果物の写真
 2点以上を張り付け
 てください。

Wiener festwochenの話し合い



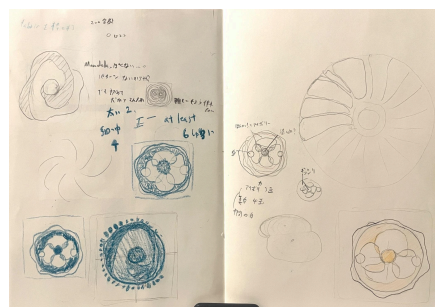
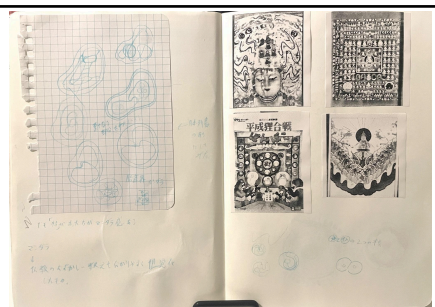
学期末プレゼンテーション



②履修科目コース名	Softsculptures
授業時間	90分
授業回数(週)	週1回
単位数	2

授業内容・課題・試験 について	<p>Description</p> <p>The artistic seminar Soft Sculptures deals with the conception, development and realisation of soft sculptures. The focus is on textile works and their contextualisation.</p> <p>--- The focus is on creating your own material and learning how to use a tufting machine.</p> <p>From the creation and processing of own materials - including the use and learning how to use tufting guns - to the realisation of a workpiece, the course will address individual projects.</p> <p>Two-dimensional designs are to be transferred into three-dimensional objects.</p> <p>The aim is to create a textile object / soft sculpture.</p> <p>Examination Modalities</p> <p>Course with immanent examination</p> <p>at least 75 % attendance</p> <p>finalising of own project</p> <p>授業内容</p> <p>ソフト・スカulptチャーの構想、開発、実現を扱います。焦点となるのはテキスタイル作品とその文脈化です。焦点は、自身の素材を創造し、タフティングマシンの使用法を学ぶことに置かれます。</p> <p>自身の素材の創造と加工（タフティングガンの使用と操作法の習得を含む）から作品の実作まで、個々のプロジェクトに取り組めます。 平面デザインを立体作品へと変換します。 目標は、テキスタイルオブジェクト／ソフトスカulptチャーの制作です。</p> <p>試験方法</p> <p>授業内評価 出席率75%以上 自身のプロジェクトの完成</p>
--------------------	---

成果物の写真
 2点以上を張り付け
 てください。



③履修科目コース名	Nature Studies and Constructive Drawing
授業時間	120分
授業回数(週)	週1回
単位数	2

授業内容・課題・試験について	<p>Description</p> <p>In the course "Nude and Nature Studies" you will relate the figure (the nude) to the object and the room (nude room). Using human proportions, posture, movement and facial expressions, reduced or detailed, you will not only train your own perception, but also develop your personal artistic forms of expression. Within the course there is also enough scope for experimentation and free drawing in large formats.</p> <p>The individual feedback on the resulting works and the image analysis should encourage you in your personal artistic development!</p> <p><i>The work material must be brought along!</i></p> <p>Examination Modalities</p> <p>20 sheets, minimum size: DIN A3 (42 x 29.7 cm) or larger. Each sheet must be labeled with your first name, last name, student ID number, and the date it was created (on the back).</p> <p>The attendance of the students is recorded using the attendance list with their own signature!</p> <p>授業内容</p> <p>自然研究と構成図は、最初の草稿であれ、カジュアルなスケッチであれ、順序の原則に基づく画像構成であれ、抽象的な描画であれ、あらゆる形態の絵画表現の基礎となります。ヌード描画に関するすべてのコースと同様に、ヌードルームでの配置を伴う人物像は、個々の解釈やさまざまなグラフィック表現の可能性の焦点となります。観察された形状を記述するには、ご自身で技法を選択してください。鉛筆、グラファイト、赤チョーク、炭、ボールペン、インク、フェルトチップ、色鉛筆、またはタブレットで使用できます。</p> <p>コースおよび演習の一部は、結果として得られた作品の分析であり、これによりあなたの芸術的アイデンティティとグラフィック表現力が向上します。</p> <p>作業資料は必ず持参</p> <p>試験方法</p> <p>20枚、最小サイズ: DIN A3 (42×29.7 cm) 以上。各シートには、名、姓、学生証番号、そして作成日(裏面)を記載する必要があります。</p> <p>試験日程は、メールで手配する必要があります</p> <p>学生の出席は、出席者自身の署名が入った出席簿を使用して記録されます</p>
----------------	---

成果物の写真
 2点以上を張り付けてください。



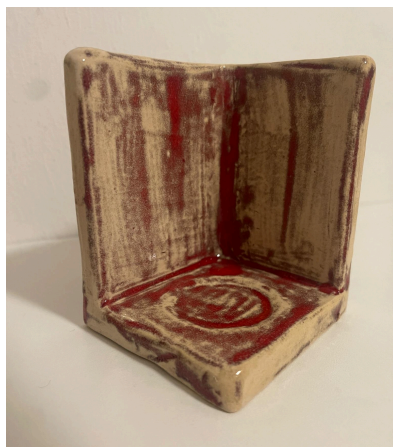
実際に提出したデッサン(左)
 教室の様子(右)



④履修科目コース名	(Künstlerische Keramik) Artistic ceramics
授業時間	180分
授業回数(週)	週1回
単位数	2

授業内容・課題・試験 について	<p>The focus is based on an artistic, sculptural form research aligned to simple technical implementation.</p> <p>An experimental approach will be supported at all levels.</p> <p>Limited participants: max. 16 students</p> <p>The selection of students is based on the receipt of a motivation letter (including examples of current artistic work)</p> <p>Examination Modalities</p> <p>The evaluation is composed of cooperation, work results and a written test about the learned material science.</p> <p>授業内容</p> <p>焦点は芸術的・彫刻的な形態研究に基づき、 簡素な技術的実装と整合する。 実験的アプローチは全段階で支援される。 学生選考は提出される志望動機書(現在の芸術作品の例を含む)に基づき実施される。 この授業を初めて受ける学生は最低1学期は基礎的な技術を学びます。授業の前半は座学で、陶器の作品を作る作家の紹介と解説を行います。</p> <p>試験方法</p> <p>評価は協力度・作業成果・学習した材料科学に関する筆記試験で構成される。</p>
--------------------	---

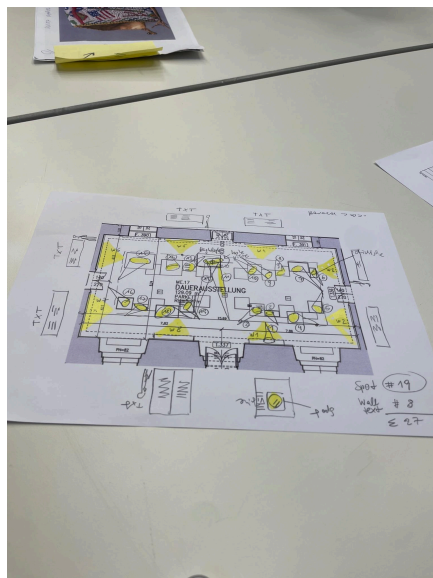
成果物の写真
 2点以上を張り付けてください。



⑤履修科目コース名	Design Revolution Now!
授業時間	180分
授業回数(週)	2週間に1回
単位数	2

<p>授業内容・課題・試験について</p>	<p>Description</p> <p>Regenerative Design Lab x Weltmuseum (World Museum - Vienna)</p> <p>This semester, the course is being held in cooperation with the Weltmuseum.</p> <p>In the search for new design strategies for regenerative design, objects from the Weltmuseum collection will serve as the starting point for a discussion in which we will ask what we can learn from communities of origin in different geographical regions about their relationship with nature.</p> <p>Context:</p> <p>The selected objects from the Weltmuseum relate to the fields of activity of the Institute of Design, so that students of fashion, graphic design, industrial design, and design investigations can gain valuable inspiration for their studies.</p> <p>The Weltmuseum is planning a new exhibition area that will experimentally contextualize the objects. The course will also serve to inform this project. To incorporate different cultural perspectives from students or visiting students of the University of Applied Sciences into the project, the course will be held in English.</p> <p>Examination Modalities</p> <p>The course is expected to be held in six block sessions. Successful completion requires attendance and the written submission of a case study for the Weltmuseum's planned experimental educational activities.</p> <p>授業内容</p> <p>再生デザイン研究所 × Weltmuseum (世界博物館 - ウィーン) 今学期、本講座はヴェルトミュージアムとの協力のもと開催されます。</p> <p>再生デザインに向けた新たなデザイン戦略を模索するにあたり、ヴェルトミュージアム所蔵のオブジェクトを出発点として議論を展開します。地理的に異なる地域における原産地のコミュニティが自然との関わりについて何を教えてくれるのかを探求します。</p> <p>選ばれた展示品は、デザイン研究所の活動分野に関連しており、ファッション、グラフィックデザイン、工業デザイン、デザイン研究を学ぶ学生たちが、学業に貴重なインスピレーションを得られるよう配慮されています。</p> <p>Weltmuseumは、展示物を実験的に文脈化する新たな展示エリアを計画しています。本講座はこのプロジェクトの情報提供も兼ねます。応用科学大学の学生や訪問学生から異なる文化的視点をプロジェクトに取り入れるため、講座は英語で行われます。</p> <p>試験方法</p> <p>本講座は6回の開催予定です。修了には出席とWeltmuseumが計画する実験的教育活動に関するケーススタディの提出が必須となります。</p>
-----------------------	--

成果物の写真
2点以上を張り付けて
ください。



7. 現地情報

(1) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか？

【回答例】 キャンパス内では大学のWi-Fiを問題なく使用できました。キャンパス外では地方に行かない限り使用できました。

どこでも問題なく使用できました。

(2) 現地で携帯電話、スマートフォンの利用手続きはどのようにしましたか？

【回答例】 SIMカードを渡航前にAmazonで購入しました。

現地でeducomというe-SIMを1 Semester分購入しました。EU圏でも使用できたので便利でした。

(3) 現地での支払い方法はどのようにしていましたか？

【回答例】 主にクレジットカード払い

8割クレジットカード支払い

<p>(4) 現地で現金での支払いが必要な時はありましたか？ 【回答例】はい、友達との食事代支払いの時に使用しました。</p> <p>市場(蚤の市、クリスマスマーケット)やローカルなお店、街中のトイレなどで使用しました。</p>
<p>(5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ 【回答例】①クレジットカードを使用してATMで現金を調達しました。 ②日本から現金を持って行ったので必要ありませんでした。</p> <p>クレジットカードを使用してATMで現金を調達しました。</p>
<p>(6) 日本から現地通貨の現金を持って行かれましたか？ はいの場合、いくら位持っていかれましたか？ 【回答例】はい、€1,000位</p> <p>100€ほど</p>
<p>(7) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。 【回答例】日本の調味料</p> <p>・味噌汁や日本の調味料(現地購入も可能ですが、高価だったり日本のものと味が違います。) ・医薬品</p>
<h2>8. 留学体験記</h2>
<p>(1) 留学しようと決めた理由は？</p> <p>異文化の中で自分の視野を広げるとともに、ヨーロッパにおける芸術への姿勢やどのような美術教育を行っているのか直接学びたいと考えたため。</p>
<p>(2) 留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備はありましたか？</p> <p>・基本的なドイツ語の勉強。 女子美でドイツ語の授業を受けていたので簡単な単語やフレーズは理解することができましたが、もっと知っていればみんなと仲良くなったり生活で困ることが少なかったのかなと思いました。</p>
<p>(3) この協定大学を選んだ理由は？</p> <p>・私の専攻(AP)が行けるコースのある学校に限られていたため。 ・歴史的な芸術文化があり、現代アートでは実験的な作品もみられるオーストリアで横断的な芸術教育を受けられそうだったため。 ・ウィーンの学生の作品の雰囲気が好き。</p>
<p>(4) 大学・学生の雰囲気はどんな感じでしたか？</p> <p>自分のしたいことができる学校なので、良くも悪くもかなり自由な学校だと感じました。 学生の年齢層がかなり幅広かったです。仕事と掛け持ちしている人、子供がいる人、もう一度大学に通っている人など様々な人がいましたが、みんな仲がよかったです。</p> <p>授業では基本的に全学年合同で受けていましたが、お互いが何学期目の生徒かなどは特に気にしていませんでした。多くの学生は5、6年ほどで卒業するらしく長い人だと8年在籍している学生も見かけました。みんな制作に真剣で良い影響を受けました。</p>
<p>(5) 交友関係についてお聞かせください。</p> <p>Erasmusの学生、同じ交換留学に来ていた女子美生、ウィーンにいる日本人の方々、寮のフラットメイト、所属している学科のクラスメイトと仲良くなりました。</p> <p>・Erasmusは最初のウェルカムデーや学校が開催してくれたイベントで仲良くなれる機会がありました。 ・TransmediaArtのクラスメイトは他の授業が被らない限り週1回の必修授業でしか会う機会はなかったので距離を縮めるのに時間がかかりました。オーストリアとドイツ人が多かったですが、他にもブラジルやロシア、トルコなど様々な出身の人がいて異文化交流ができてとても楽しかったです。</p>
<p>(6) 困ったこと、大変だったことがあればお聞かせください。</p> <p>授業が大変でした。コースにもよりますが、TransmediaArtのクラスは私以外みんなドイツ語ができるので英語での説明をお願いしてもいつの間にかドイツ語に切り替わってしまい授業について行くのが大変でした。 クラスメイトにたくさん助けられました。</p>

(7) 現地での学習内容・勉強についてお聞かせください。

作品制作・プロジェクトの進行や授業の申し込みなどほぼ全てが学生に委ねられているので、日本とはシステムが違いすぎて最初は混乱しました。

「何に興味があって、どんなことを学んできて、何を作りたいか」を先生に説明してから私に合ったおすすめ授業を教えてください、それを参考に授業を履修するスタイルでした。

女子美や他の協定校にあるようなチューター制度はないのでウィーンの友達に聞いたり先生に何回もメールして聞くなど手探りで情報を集め勉強していました。

(8) 海外生活の中で気がついたことなどあればお聞かせください。

・ヨーロッパの街(都市)は東京と比べてかなりコンパクト
1時間ちょっとあればウィーンのどこへでもいけます。公共交通機関のチケットもパス(年間・学期)を買えば電車、バス、トラム、鉄道が乗り放題なので便利でした。
旅行で地方の街や他の国にも行きましたが、どこも主要なエリアは徒歩で移動できました。足腰が強くなります。

・誰も急いでない。誰も周りの人の目を気にしてない。困っていたら助けてくれる。
スーパーのレジで買うものが少ない人を先に通したり、街中で荷物をぶちまけても周りの人がサッと拾ってくれました。ベビーカーや車椅子を使っている人もかなり見かけました。バスなどに乗ってきたらすぐにスペースを作った上り下りを手伝ったりと優しく時間がゆっくり流れる街だと感じました。

・街中の広告が少なく、あってもほとんどが舞台や展示会、芸術祭など文化芸術中心の広告であったこと。
・日曜日は何もやっていない

(9) 海外生活の中で印象深いこと(風景、人、モノなど)を写真で紹介してください。4点以上







協定海外留学レポート

Joshi University of Art and Design

1. 基本情報

留学先大学	ウィーン応用美術大学（オーストリア）
協定留学プログラム	1 Semester
留学期間	2025年9月～2026年2月
名前	O・Yさん
学部・学科・専攻	芸術学部 デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻
留学した時の学年	3年次

2. 渡航 前手続きについて(留学ビザ)

ビザの種類	D Visa
申請先	オーストリア大使館
ビザ取得所要日数 (申請してから何日/週要したか)	3週間
ビザ取得費用	10590円
必要書類	パスポート、英文残高証明書、英文海外旅行保険証書、寮の家賃振込証明、航空券控え、ホテル予約証明、入学許可書
具体的な申し込み手順を、以下へ明記お願いします。	
全ての書類を用意してビザセンターの予約をとりビザ申請	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか。	
ビザ取得に関して困った点・注意点について、以下へ明記お願いします。	
ビザ申請のために無犯罪証明書や親の労働証明書を用意したが私には必要なかった	

2. 渡航について

利用航空会社	オーストリアエアライン
航空券手配方法	HIS
大学の最寄り空港名	Viena Schwechat INTL
現地到着時刻	18時20分
キャンパスへの移動手段	空港近くのホテルに宿泊後電車で寮まで移動
移動所要時間	約1時間
空港からキャンパスへの移動の際の注意点などありましたら、以下へ明記お願いします。	
渡航前に済ませておくべき準備などありましたら、以下へ明記お願いします。	
3. 住居について	
住居タイプ	学生寮

協定海外留学レポート

Joshi University of Art and Design

到着後すぐに居住入居できましたか？	はい
部屋のタイプ	1人部屋
住居を探した方法	大学から案内されたいくつかの寮探しサイトで
住居申し込み方法	メール
1カ月の宿舍費(現地通貨)	580€
注意点やアドバイスがあれば、以下へ明記をお願いします。	

4. 留学先オリエンテーションについて

オリエンテーション有無	ありました
日程	2025年9月24日
参加必須ですか？	はい

5. 授業について

履修登録はいつどのような形で行いましたか？	到着前にオンラインで
履修科目・単位数は？	5科目20 ECTS
ボリューム的にどうでしたか？	ちょうどよかった

6. 履修科目詳細 ※履修した授業すべて記載してください。

履修学科名	Design, Applied Photography and Time Based Media
①履修科目コース名	ZKF Angewandte Fotografie 1-2 主要芸術科目 1-2
授業時間	回によって違う
授業回数(週)	基本週1回 モジュールという授業が入る際は不規則になる
単位数	12ECTS

クリスマスマーケットや蚤の市などは現金しか使えない店舗が多い、友達との割り勘の時なども現金は必要
(5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ 【回答例】 ①クレジットカードを使用してATMで現金を調達しました。 ②日本から現金を持って行ったので必要ありませんでした。
クレジットカードを使用してATMで現金を調達
(6) 日本から現地通貨の現金を持って行かれたか？ はいの場合、いくら位持っていかれましたか？ 【回答例】 はい、£ 1,000位
日本円で三万円を空港で両替して持っていきました
(7) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。 【回答例】 日本の調味料
日本スーパーなどもありネットショッピングもできるので大体のものは買えるが日本と比べて割高ではある
8. 留学体験記
(1) 留学しようと決めた理由は？
学生のうちに長期間海外で生活してみたかったため
(2) 留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備はありましたか？
料理などの家事を練習する、英語のスピーキングの練習をしておけば良かった
(3) この協定大学を選んだ理由は？
ウィーンの治安のよさとドイツ語を渡航前から勉強していたので
(4) 大学・学生の雰囲気はどんな感じでしたか？
教授も学生もフレンドリー、最初に皆んなで旅行に行ったり定期的に全員でランチを食べたりした 私がいた学科はオーストリア外からきた学生が多かったため授業は全て英語だった 技術を教わるというより技術を持っているアーティストが自分の作品を発表する場としてや自分の作風を見つめる場というイメージ
(5) 交友関係についてお聞かせください。
学外では一緒の大学に留学に行った女子美の子と一緒にいることが多かった 学内では同じ学科のご飯を食べたり喋っていた
(6) 困ったこと、大変だったことがあればお聞かせください。
授業開始の時間や休憩終了の時間がコロコロ変わったりズレたりするには困っていた
(7) 現地での学習内容・勉強についてお聞かせください。
写真、映像をメインに授業を選んだ 学芸員課程を履修しており博物館の運営やアーティストのサポートなどにも興味があったためそれに関連する授業も履修した 教授が話しているのを学生はひたすら聞くような授業は一つしかなく他の授業はディスカッションメインだったためスピーキング力が身についたと思う
(8) 海外生活の中で気がついたことなどあればお聞かせください。
時制や人称変化などぐちゃぐちゃの英語でも人は理解をようとしてくれるので会話はできる 丁寧にゆっくり完璧な英語を話すよりもぐちゃぐちゃの英語でテンポよく話した方が話は盛り上がる
(9) 海外生活の中で印象深いこと（風景、人、モノなど）を写真で紹介してください。4点以上

